

ユニック部門：リチウムイオンバッテリー搭載のミニ・クローラクレーンを開発し、欧州にて販売開始 ～バッテリー式ミニ・クローラクレーンのラインナップを拡充～

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ユニック部門を担う古河ユニック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山川 賢司、以下：古河ユニック）は、充電式のリチウムイオンバッテリーを搭載したミニ・クローラクレーン『UM325C』（最大吊上能力 3,230kg）を開発し、欧州にて販売を開始しました。従来のバッテリー式モデルと同様に、排気ガスを出せない地下道やビルなどの屋内のほか、外部電源の取得が困難な現場や狭い場所などに自走して移動し、CO₂を排出しないクリーンなクレーン作業を可能にすることに加え、リチウムイオンバッテリーの採用により高速充電（AC200Vで満充電時間：約3時間）を実現しています。

古河ユニックは、今後もお客さまのニーズに応える製品の開発・提供のみならず、カーボンニュートラルの実現に向けた製品・技術・サービスの開発・提供により一層注力してまいります。



コンパクトな格納・走行形態のUM325C



ブームを伸ばした作業形態のUM325C

リチウムイオンバッテリー搭載のミニ・クローラクレーン『UM325C』について

①バッテリー式モデルの新たなラインナップ

『UM325C』は「ゼロ・エミッションクレーン」をコンセプトに開発したバッテリー式最新モデルです。従来の液式鉛バッテリー式モデル『URW295CBR』（2016年国内販売開始）とAGMバッテリー式モデル『URW295CB3RA』（2021年国内販売開始）のミニ・クローラクレーンに加え、充電式のリチウムイオンバッテリー式モデルとして新たにラインナップしました。現行ラインナップ（AGMバッテリー式モデル）から約2時間の満充電時間を短縮しました。

②コンパクトな格納形態と十分な地上揚程を実現

走行時の車幅は一般的なドアを通過できる750mmで地下道や屋内、狭い場所などに移動が可能となし、「ポップアップ式コラム（起立式コラムポスト）※1」の採用により、コンパクトな格納形態と十分な地上揚程を実現しました。さらに、オプションの「油圧チルト式ジブ※2」を装着することで、最大地上高17.7m、最大作業半径15.6mまでクレーン作業が可能になります。

※1 ポップアップ式コラム（起立式コラムポスト）：クレーンの折り畳み機構で、コンパクトな格納姿勢と広範囲な作業領域を実現します。

※2 油圧チルト式ジブ：クレーンのブーム先端に取り付けるジブで、高揚程での荷の送り込み作業で威力を発揮します。

③作業者の安全を確保

走行およびクレーン操作は、ラジコン送信機を用いた遠隔操作が可能で、アウトリガの張り出し状態やクレーンの作業姿勢に応じて定格荷重を自動で切り換える機能により、作業者の安全を確保しました。

④安全性と作業効率の向上

そのほかにも、確実な機体設置を実現する「アウトリガ水平自動張出機能」や安定した走行を実現する「拡幅クローラ」などの機能を搭載し、“安全性と作業効率の向上”を図っています。また、従来シリーズとは異なるアウトリガの採用により、アウトリガ設置・格納作業を簡易化するとともに、他クレーンを使用せずにアウトリガで機体を持ち上げ、運搬用トラック荷台へ積載することも可能にしました。

【補足資料】

【ミニ・クローラクレーン（ミニクロ）】とは

コンパクトなボディでトラックが入り込めない狭い場所や不整地、屋内作業現場で威力を発揮する自走式クレーンです。

小型トラックの荷台に横積み可能な非乗車型モデルから、世界最大の吊り上げ能力を誇る10t吊りの乗車型モデル、環境に配慮した完全電動モデルなどラインナップしています。

※「ミニクロ」は、古河ユニック株式会社の登録商標です。



■参考動画

【社会課題を解決】狭い場所で活躍するミニ・クローラクレーン編 | 古河機械金属 PV

<https://youtu.be/rg4kSRtcLiU>

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,855人 〈単独〉208人 [2024年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp>

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山川 賢司

事業内容：1961年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニ・クローラクレーンなどの製造・販売を行っています。

設立：1946（昭和21）年4月

資本金：2億円

従業員数：427人 [2024年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawaunic.co.jp/>